

みんなの議会



P2

議案

庁舎建設 16億円超え!!

P4

予算

注目すべき事業は!

P6

語る会

みんなの声を活かします

P7

町政を
問う

8名の議員が町政を問う

6千3百57万円追加し 百78万円に!!

加し、総額74億1千8百43万円に

9月会議は、11日から21日までの11日間、開催されました。初日は、8名の議員による一般質問が行われ、防災や農業振興、財政状況など町政全般に関する様々な問題について、町長や教育長に質問しました。

また、人権擁護委員の推薦に関する諮問1件と報告2件、補正予算6件を含む議案10件を審議のうえ、可決しました。加えて、平成29年度一般会計歳入歳出決算他7件の認定が提出された事を受けて、議長と監査委員を除く議員全員で決算審査特別委員会を設置する事を決定し、9月21日から10月30日までのうち8日の審査日程と、大久保孝司委員長と大坪満寿子副委員長を選任しました。

6億7千8百17万円の一般会計補正予算には、「庁舎整備事業」をはじめ、「防犯カメラ設置事業」や「旧大泊小学校跡地整備事業」などが含まれ、他に、国民健康保険事業特別会計補正予算など特別会計178万円も可決決定しました。

私の判断

(○…賛成、×…反対)

※議長は裁決には加わりません。

	浪瀬 敦郎	松元 勇治	津崎 淳子	後藤 道子	水谷 俊一	日高 孝壽	大坪満寿子	持留 秋男	大久保孝司	木佐貫徳和	川原 拓郎	大村 明雄
予算	平成30年度 一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	平成30年度 一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	平成30年度特別会計補正予算(全4件)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
条例	南大隅町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
計画	南大隅町過疎地域自立促進計画の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
契約	消防小型動力ポンプ付積載自動車購入契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	消防小型動力ポンプ付軽積載自動車購入契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
諮問	人権擁護委員の推薦	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

9月
会議

庁舎整備事業費を4億 16億4千8

一般会計は6億7千8百17万円を追

庁舎整備事業（庁舎建設）

46,357万円

昨年度から実施していた役場本庁舎の設計業務が終了し、今年度から建築に着手します。複数年にわたる工事となるため「継続費」として予算計上致します。

継続費合計	164,878万円	(内訳) 委託料	2,187.9万円
年割額		工事請負費	162,690.1万円
平成30年度	46,357万円		
平成31年度	59,962万円		
平成32年度	58,558万円		
【財源】町負担額	164,878万円	(うち地方債	123,500万円)



新庁舎完成イメージパース

9月会議の

① 防犯カメラ設置事業

高齢者や子供たちの見守り的な役割を果たし、行方不明者の捜索にも役立てます。

196 万円

② 旧大泊小学校跡地整備事業

駐車場やトイレ、ベンチ、物販棟の為の仮設テント等の整備に向けた実施設計を行います。

1,000 万円

③ 子育て世代包括支援センター事業

妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援提供をめざし平成31年度に子育て世代包括支援センターを開設します。そのための開設準備事業。

323 万円



注目すべき事業!!

④ 佐多岬熱帯果樹 施設整備事業

ハウス本体工事に係る用地の排水対策と農業用水確保対策等を行います。

768 万円

⑤ 田尻漁港浚渫

田尻漁港地内に砂の堆積が見られ、漁船の入出港に支障をきたす恐れがある為。

500 万円

⑥ 南大隅高校女子寮 建設事業

現生徒寮の駐車場部分に木造2階建床面積146㎡の女子寮を建設します。

3,228 万円

みんなの声を活かします!!

9月21日、最終本会議終了後、自治会長連絡協議会との議会報告会並びに語る会が開催されました。当日は、議員全員と14名の自治会長の方々に参加いただき、議会からの報告の後、意見交換が行われ、様々な意見が出されました。



●人口減少や少子高齢化の中、南大隅町はどうなって行くのか先が見えない。



●小中学校へのエアコンの設置は是非とも進めていただきたい。



●みんなの議会の中の「議員のひとり言」は大変面白く、毎回楽しみにしています。



●観光客が通る道路や観光地では除草剤は使用しない方がよい。

「みんなの議会」は写真なども多く使われ見易くなったと思います。その中で、気になったことを少し話してみたいと思います。はじめに、議員の方々の質問に対し、町長や執行部から、「調査します。」や「検討します。」等といった答弁がよく見られます。しかし、それがどうなったのか全くわかりません。調査の結果はこうでし

たとか、検討した結果この様な結論に至りました等といったその後の追跡調査報告があれば良いのと思えます。また、「議員のひとり言」は非常に面白いと思う。議員の方々の考えや思いがひよっこり見えてきて非常に興味深いので、ぜひ続けてもらいたい。出来れば1行と言わずもっと多くても良いのではとも思っています。

広報モニターから

ひとこと

No.1



宮ヶ原克己さん

町政を問う!

9月会議

一般質問



掲載順	質問事項	質問議員
1	<ul style="list-style-type: none">・避難所の在り方について・防犯カメラの設置について・児童公園の整備について	松元 勇治
2	<ul style="list-style-type: none">・防災工事箇所の安全点検について・行方不明者等の捜索について	木佐貴 徳和
3	<ul style="list-style-type: none">・防災について・旧宮田小学校の利活用について	津崎 淳子
4	<ul style="list-style-type: none">・農業振興について（佐多岬熱帯果樹施設整備事業）	大久保 孝司
5	<ul style="list-style-type: none">・街宣車が及ぼす教育への影響について・2級河川雄川の安全性について	大坪 満寿子
6	<ul style="list-style-type: none">・大泊地区の整備について・種子島との航路開設について	日高 孝壽
7	<ul style="list-style-type: none">・職員の働き方について・現在の財政状況と今後の展望について	水谷 俊一
8	<ul style="list-style-type: none">・子育て教育支援について・観光事業の進捗状況について・医師会立病院の今後について	後藤 道子

一般質問は、議員が町の行財政全般にわたって、執行機関に疑問点を質し、所信の表明を求めるもので、議員固有の権能として与えられたものです。

一人あたりの持ち時間は、答弁を含め60分です。掲載されている内容は、質問者自身が要約し広報委員が校正したものです。

危機管理体制の重要性と 住民の安心・安全を見守る やさしいまちづくりとは



町長 安心して避難できる受け入れ体制 や環境づくりを構築します。

議員 各避難所において受け入れ体制は万全に行われているか伺います。

町長 本町の防災計画における避難所は、現在22カ所を指定避難所としています。受け入れ体制については、役場消防隊と各分団へ要請して開設し、特に高齢者など早めの避難を呼びかけます。現状は空調が使用できる所16施設。その他、トイレの洋式他、バリアフリーなど良好な環境も考慮しています。

議員 各避難所に配属される消防団員、役場職員の情報は把握されているのか伺います。

答

総務課長 町内に22カ所の指定避難所があり、根占地区13カ所、佐多地区9カ所、根占地区は役場消防隊で、佐多地区は自主避難所を含め各分団に、業務がある中において災害等については、迅速に任務を行うようにお願いしています。

議員 要援護者の利用する福祉避難所の施設は、どのように対応されているか伺います。

町長 平成29年度から、老人福祉センターを福祉避難所として設置しています。本人や家族の意向を確認し、台風接近の前日までに集約し、福祉車両を活用し

て早めに避難していただいています。



議員 地域の見守り（認知症の方、行方不明者等）を目的とする監視、防犯カメラを必要とする場所に設置する考えはないか伺います。

町長 本町は、高齢化が急速に進み、認知症等の方が徘徊し、行方不明になるケースが増加しています。今回、議会の9月会議において必要な予算をお願いしています。必要とされる自治会、設置に理解が得られる自治会を優先的に設置したいと考えています。

総務課長 プライバシーの保護については、南大隅町防犯カメラの設置及び運用に関する要綱を定めています。管理者、責任者を

設け運用従事者の遵守事項、第三者にもらさないなどを謳っております。

議員 児童公園の整備について、子育て世代の交流の場として、利用できる児童公園をつくる考えはないか伺います。

町長 子育て環境として必要なものとして考えています。現在具体的な計画はありませんが、今後、実施の可能性を検討していきたいと考えています。

議員 児童公園があり、遊具施設がある景観を見るとき「子育てには優しい町」という気持ちになる町づくりをしてほしいと思います。



近ごろ想定外が多い中、備えよ常にを忘れず!!

議員のひとり言

木佐貫 徳和 議員

急傾斜地崩壊対策工事箇所、砂防ダムの安全点検は



町長 安全点検は、県において5年に1回実施している

答

議員 西日本豪雨災害では、以前の災害で取り除きがしてなかつたために被害が大きくなつた所があつた。その様な箇所は無いか伺います。

建設課長 現在の所、県からの報告、自治会長や住民から異常の報告はありません。

議員 35カ所の急傾斜地崩壊対策工事箇所があるとの事だが、長年の経過で草茫茫々になり、中々わからない所もある。安全点検をしてもらえる砂防ボランティアが県にあるが、その協会を存じているか伺います。

町長 県の土木部OBが砂防ボランティア協会を立ち上げ、随時、見て回っていると聞いています。

議員 自治会長や住民から危険箇所の通報が有つた時は、すぐ砂防ボランティアに連絡いただき、住民の不安解消に努めていただきたい。

議員 砂防ダムの工事完了箇所に土砂等の堆積がある所が見受けられるが、どの様な安全対策を考えているか伺います。

町長 砂防ダムは、流出土砂を貯留し、下流への土砂流出を調整する役割があります。土砂

が堆積すると河床が上昇し、山腹が安定し、山腹崩壊を防止できるため、満杯になつても浚渫はしません。しかし、下流に危険が及ぶ様な箇所があれば、県に要望していきます。

議員 竹之浦は町道と並行して河川のため河床が上がつていき、さらに下流は人家に影響があるかもしれないので取り除きはできないか伺います。

町長 県に要望します。



土砂で満杯の竹之浦砂防ダム

議員 垂水川の砂防ダムも満砂で伊座敷漁港に影響があります。干潮時には養殖エサの運搬にも支障がありますが、把握されているか伺います。

町長 昔フェリーが出ていたところを見たら、砂浜になつていて驚いたところです。

議員 是非、県の伊座敷漁港ですので要望していただきたい。

行方不明者の搜索について

議員 3日間の消防、警察、地元の搜索終了後、発見に至らなかつた時、町内有志のボランティアの募集をして活用はできないか伺います。

町長 まずは、搜索を未然に防ぐ対策にも重きを置きつつ、家族の思いに少しでも応えられるようなボランティアによる協力を検討していきます。

議員 防犯カメラの増設や見守りの充実など行方不明者を出さない施策も取り組んでほしい。

議員のひとり言

台風やゲリラ豪雨の対策は、早めの避難で自分の命は自分で守ろう

最近の災害に町の防災計画で対応できますか



町長 避難準備、高齢者等避難開始を早期に発令することで、独居高齢者や高齢者の方が明るいうちに、安心して避難できる体制づくりに努めています。

議員 防災無線以外の周知方法にエリアメール、町のホームページ、町公式ツイッターがあります。SNSの方法や緊急速報メール設定が出来ない人にスマホ講座等を行っていただきたい。

町長 6月の広報誌で掲載されているが更に詳しい内容の周知等をはかっている、スマホ講座等についても検討します。

議員 他の自治体でSNSやGoogleマップを利用してフェイスブックで自分の住む近くの情報を写真に撮りアップしてコメントを入れ、情報を行政も共有でき確認、対応され、またGoogleマップを利用して通行止め情報や迂回路が表示され活用されて

防災教育の現状と今後の取り組みについて伺います。

いて、早目の避難や減災に繋がられると思いいいと思います。

教育長 学校保健法に基づき避難訓練を実施しています。また、災害予知情報の収集、確認、伝達、報告広報活動、防災組織の編成と分担、防災施設と機材の点検等、教職員に対する訓練も行っています。防災教育の徹底に努めています。

議員 リーダー育成は必要で、子供の中から防災意識を持たせ、地域の担い手として人材育成しないと

いけないと思います。子どもから大人まで防災意識を持ち、防災リーダー育成につながる勉強会や生涯学習講座を行っていただきたい。

受援力の体制と受援計画について策定されていますか。

※受援力とは、ボランティアの援助を受け入れる能力

町長 ボランティアの受援体制は、社会福祉協議会と連携し受援体制の確立に努めています。災害時受援計画は、本町において具体的な計画がない為、現在作業を進めている地域防災計画の中で盛り込むことにしています。

議員 災害ボランティア支援をどんどん送るべきだと思います。行くことによりノウハウを学べるし、災害時の対応力や受援力や受援計画もスキルが上がるし、また、わが町が被災した時に支援していただけています。



台風 25 号による落石 (伊座敷付近にて)

旧宮田小学校の利活用の計画がありますか

町長 現時点では、貸付実績、計画とも無い状況です。

議員 今年、旧菅原小学校をリノベーションして体験型宿泊施設がオープンされました。旧宮田小と同じような立地です。大浜海岸には、毎年ウミガメが上陸し、大浜集落の方達を中心に管理し、放流時には200人〜300人の方が県内外から来られます。ウミガメ放流も観光資源の一つだと思えます。雄川の滝・佐多岬で観光客が増えましたが、食べる所がない、宿泊所が少ない、お金は隣町におちるとよく聞きます。滞留、滞在時間が長くなることにより経済効果が生まれると思います。旧宮田小を旧菅原小のように参考にして、観光客が地元の人と触れ合う場所にし、地域のコミュニティの場所であり、食事ができ、休息し、体験し、宿泊できる場所にできたらいいなと思います。



旧宮田小学校

議員のひとり言

防災計画の見直し、受援計画を早急に、、、災害はいつ来るかわからない。

農業振興について問う



議員

佐多岬熱帯果樹施設整備事業の進捗状況を伺います。

町長

本事業は、佐多大泊地区に熱帯果樹類のアボカド、パッションフルーツ、パイナップルを農業用ハウス三棟を整備し、植栽する予定です。現在用地内の雑木等の抜根、造成工事をしている状況です。

議員

就農者育成確保対策として三品目は、本事業に値する作物でありますか。

経済課長

高い評価や大変良い成績を上げており、新規就農者募集としては大変良い三品目と確信しています。

議員

本町で振興する熱帯果樹三品目を新規就農者育成対策と観光振興目的どちらを重点に置かれる考えか伺います。

町長

本町の温暖な気候を生かした品目として、収益性の安定を図る上から、ビニールハウスにより生産モデルとして町内外の就農者への紹介の場になると考えており、観光振興の一環として生産される果実は、佐多岬観光客への提供やビニールハウスでの栽培状況の開放等地域活性化の相乗効果を期待しています。

議員

新規就農者育成事業から、九月補正では販売、加工品開発の提供、佐多岬観光農園を前提としているか見解を伺います。

経済課長

この事業は、地域おこし協力隊一名を三年間研修生として受け入れる考えであります。

議員

栽培管理を行う地域おこし協力隊の参入状況を伺います。

町長

本年二月募集により一名を選定して、六月から着任して認定農業者の下で農業実習に取り組んでいます。

今後も農業技術を学びながら、六次化に向けて各研修の参加と農業用ハウスでの栽培管理や加工品への取り組みを生かしてもらおう考えです。

議員

農業ハウス事業としては植栽等遅れていると思うが、計画は立てておられるか伺います。

経済課長

アボカドは二、三年掛かると思います。パッションフルーツは苗を育てておりますので、ハウス完成次第定植する考えです。

議員

栽培技術者、研修制度のプログラムは出来ているか伺います。

町長

本事業では地域おこし協力隊員が栽培管理を行いますので、特に栽培技術者の配置は予定しておりません。研修制度については、現在三品目栽培される認定農業者の下で研修を受けており、農業技術員の指導により自ら栽培して行く計画です。

議員

今後新規就農者が事業参入要望された場合、新規就農者研修制度を利用され、本事業に活用される考えはないか伺います。

経済課長

今後、就農、新規就農者を募集するにあたり技術員ほか数名で、当たっていく考えです。



農業用ハウス予定地

議員のひとり言

街宣車が及ぼす教育への影響について



議員 6月から7月にかけて、町内随所を廻った街宣車について子どもたちへの影響をどの様に考えておられるのか伺います。

教育長 不適切な表現が子どもたちの耳に触れることは健全育成を指導する学校としては、教育上非常に良くない行為だと考えております。

今後、このようなことがないことを切に願うところで。

議員 子どもたちへの影響を最小限に食い止めるためにも一刻も早い対応が必要だったと思うが何らかの対応を取られたのか伺います。

教育長 学校の管理職からの問い合わせ等もあり、法には触れない行為だが、注意してもらおうということで警察の方に電話をしていただき、その結果、音量が下

がったのではと思つているところです。

議員 このような街宣車が今後来る可能性は。また、来た時の対応・対策は考えておられるのか伺います。

町長 今回の街宣車は突然街宣活動を展開しており、今後の可能性については不明です。

しかし、街宣車に限らず、個人や町政を誹謗中傷する類のもの、さらに法令等に違反するものがあるれば、当然、必要な法的処置をとらなければならないと考えております。

議員 子どもたちは素直な心・真つ直ぐな目を持つています。子どもたちの人間形成に関わる心を育み、人格を育てるという環境に今回の街宣は少なからず影響を与えたのではないでしょう

か。このような事で子どもたちが影響を受けることがあつてはなりません。町民を動揺させないため

二級河川、雄川の安全性は？

町長 町としても河川改修の早期完成を要望するとともに防災マップの活用も促していきたいと考えています。

議員 昭和六十年代、十カ年で百億円規模の河川事業だったと伺つています。三十年以上経

にも、今後このような事があつたら一刻も早く迅速な対応を取つていただくよう要望します。

過していますので、災害が起こる前に一刻も早く完成するよう努めていただきたい。

また、雄川河川の近くに南大隅高校の女子寮を建設して大丈夫か伺います。

町長 寮業務委託契約の中に防災訓練が位置づけてあり避難場所や避難経路の確認、避難訓練等の実施をお願いしています。

議員 全国各地で想定外の大雨や台風など災害が多発しています。災害は起きてはいけません。発生しても最小限、想定内で済むよう、安全な雄川になるよう努力してください。

また、男子寮の隣に女子寮が建設されます。若い子どもたちです。こちらにも、何事も起こらないよう、教育長はじめ教育委員会、先生方よろしく願います。



女子寮建設予定地と寄り洲

子どもは宝です。素直な心・真つ直ぐな目を持ち続けてほしい。

議員のひとり言

大泊地区の整備等について



平成28年度に提示された、観光基盤整備基本計画の進捗状況を伺う。

町長 平成26年度に佐多岬誘客

光基盤整備基本構想」を策定し、具体化させた「南大隅町大泊地区観光基盤整備基本計画」を地域懇談会での意見や要望を反映させて平成28年度に策定しました。国や県の補助事業を活用した計画を実現させるために、平成29年度に「南大隅町観光基盤整備基本計画」を策定して、補助事業申請をおこないました。大泊海浜公園周辺は、鹿児島県の魅力ある観光地づくり事業での整備を希望し申請しましたが、選定されませんでした。跡地については、民間資本によって旧大泊小学校を改修しホテル経営とその近隣にレストランを建設したいという旨の事業提案もなされました。今後は国県、民間と連携し且つ、地域の方々のご意見を賜

りながら、大泊周辺の整備を進めていくことになろうと思います。

議員 地域住民の利用になら、制約を受けないもんか、地元民の利用、兼ね合いは、どうですか。

町長 今後詰めていく状況になろうかと思っております。ただ先方にしまして、地域と仲良くやっていきたいという旨のご発言はいただいておりますので、施設利用等に関しましては、十分に盛込める話かと思っておりますので、地域のご要望等がありましたら教えていただければと思います。

大泊地区に温泉掘削調査の考えはないか伺う

町長 平成25年度に、地下資源の可能性を探るため「佐多岬観光整備地下資源可能性調査」を鹿児島県で実施していただいております。解析の結果、水源の可能性は佐多岬公園周辺は低

く、大泊地区の海洋センターと旧大泊小学校跡地付近に期待できるという結果が出ているようであり、加温なしで入浴に適した源泉温度43度を確保するためには、1,800m掘削する必要がありますと試算されております。掘削費用だけで9千万円から1億8千万円程度必要になりますので、温泉掘削のリスクなどを総合的に考えますと、現時点では厳しいと思っております。

議員 ホテルの生き残る道は温泉しかないかと考えるが。

佐多岬灯台官舎跡地に記念館、もしくは灯台資料館等を設置する考えはないか伺う

町長 佐多岬灯台官舎跡は、貴重な観光資源であると認識しております。今回、草木に覆われていた官舎跡は姿を現し、歩道も整備され、観光ルートとして紹介され、多くの方に見学していただいております。跡地には、若干の広場があり、そこに明治時代の灯台と官舎、灯台へ渡るためのゴンドラなどの写真や説明が記された案内版、休憩用の椅子が設置さ

れています。今後進めていく大泊周辺整備事業の中で前向きに検討して参ります。

議員 建物の外部だけ残っている。その中に入れる位の物でも造ってもらえないか伺います。

町長 この前の大地震でブロック塀が倒れたというような、建築基準的な問題もあろうかというふうに思います。

航路の試験運行後の進捗状況を伺う

町長 平成28年5月に大泊港から高速船で西之表市を訪問し、7月には西之表市を訪問した

鹿児島県、肝付町、南大隅町の関係者で、今後の取り組みについて検討を行いました。具体的な進捗は無い状況です。航路開設には、採算性が重要ですので、鹿児島県及び8月に設立された「株式会社おおすすめ観光未来会議」の協力もお願いしながら、「種子島航路開設を検討したいと考えております。

議員 大隅半島全域を大々的に外に向け、誘致活動をしていただきたい。

夢は追いかけていくから夢である。

議員のひとり言

公債費増加により 財政悪化が懸念されるが 町長の考えは？



町長 公債費の増加に備え減債基金の積立を増やしており、普通交付税算入額と基金で対応できると考えます。

町長 借り入れた地方債の償還元金及び利子にあたる公債費は、今後増加する見込みで、平成34年度がピークで元金・利子合計で年間約12億の償還が必要となります。経常収支比率については、現在より硬直化するものと考えております。この将来予測に対し、今後の財政運営に支障をきたすことのないよう減債基金の積み立てを増やしております。また、地方債の多くは、過疎債・辺地債・合併特例債など交付税措置のある有利な地方債であり、普通交付税算入額と減債基金により、公債費負担に対しては対応できると考えます。

議員 直近の起債（借金）残高及び基金（貯金）残高を伺います。

町長 平成29年度末で、地方債残高は1百1億2千6百37万8千円です。また、特定目的基金残高は99億4千7百97万5千円となっております。

議員 100億円を超える地方債には、怖さを感じます。交付税措置される有利な地方債であると町長は言われるが、年々、借入額は増加しているにも関わらず、地方交付税は減少し続けています。今後は、ますます減少して

いくものとは私は、考えます。有利な地方債だから地方交付税として我々の手元に返ってくることは、素直に考える事はできません。

有利な借り入れとよく言われるが、借入れに有利なものなどあるはずがないと私は思います。返済に多大な困難が伴うことは確実であり、また、他の市町村がそこまで増やさないのはなぜか、よく考えていただきたい。むやみやたらと起債を重ねるべきではないと私は考えます。思い出していたいただきたい。合併当初からどれほど苦しい思いをして、職員一丸となり、行財政改革に取り組んできたかを10年後、漸く光明が見えてきたと思いきや、また来た道を引き返しています。そこで、町有施設整備基金をはじめとする基金を、庁舎建設に充てる考えはないか伺います。

町長 庁舎建設費は総額16億4千8百78万円で、その財源としては、合併特例債を12億3千5百万円、町有施設整備基金を、4億1千3百万円、一般財源を78万円見込んでおります。財源構成比率は地方債約74・9%、基金繰入金約25%となっております。



本庁舎完成予想図

議員 平成29年度は、減債基金や財政調整基金を取り崩し使用してきたが経常収支比率は悪化しました。多くの基金を積み立てても財政改善に繋がらないならば、借入をやめて基金を使いこれ以上の財政悪化を止めるべきです。借入をやめ、30億円程度の基金を取り崩し、それらを利用しながら健全な財政運営をしていただきたいと思います。

議員のひとり言

自主財源の乏しい本町の財政が悪化すると、その状況を改善するのは非常に難しい!!

後藤 道子 議員

奨学金制度に対しての
問題点・改善点はないか？



教育長

スタートしたばかりで、現在九件採択
各種行事等で制度のPR等を行う考え

議員

パンフレットの医大生の中
に薬学を追加され、大学、
短大、専門学校等に大学院も
加える考えはないか伺います。

教育長

上限を五百万円に設定し
ておりますので、その範囲
内で分割する方向性で検討させて

観光事業の進捗状況を伺う

町長

メディアに数多く取り上げられ、
注目度がさらに高まった。今後の
事業展開が期待されている状況。

議員

昨年比べて観光客が増
加して、雄川の滝周辺の住
民からの苦情はないか伺います。

観光課

近隣自治会の方々には農
作業や自宅への車両通行に
ご迷惑をかけ、苦情もいただき、



いただきます。

待機場所の変更と民間のシャトル
バス運行を並行して行いました。

議員

雄川の滝への道はシャトル
バスと一般車両の離合が
難しい状況にあるので、繁忙期に
おいてはすべてをなんたん市場か
ら発着のシャトルバス運行で対応
する考えはないか伺います。

観光課

130台収容の駐車場が
ある現在、雄川の滝の駐車
場を全く使わないということは考
えておりません。今後、バス事業
者を入れて協議するつもりです。

医師会立病院の現在の
検討状況を伺う

町長

「南隅地域のための医療の姿」
検討委員会を設置

議員

建設の日程は決まってい
るか伺います。

町民健康課

今の段階では決まってお
りません。

議員

南隅地区にとっての中心
的な場所は南大隅町である

議員

今後（三〜五年後）の収
益についてどう考えている
か伺います。

町長

今は、公共投資する時期
であると考え、町からの補
助金も増やし、観光協会の予算が
高額になったものと考えます。収
益性も必要ですが、数多くのメデ
ィアで取り上げられ、本町の魅力
を広く発信できたことも高く評価
しているところです。観光を絡め
た新たな事業参入者、新規起業者
へと繋がってくればと大きな期
待を寄せているところです。

議員のひとり言

高齢化率の高い町だからこそ万全の医療対策が必要!!

地域交流誌「みちくさ」に学ぶ!

広報広聴常任委員会



講師 福永 栄子 氏



新たな刺激を受けた研修会

9月26日、本庁全員協議会室において、宮崎市より旅の情報誌「みちくさ」の編集長福永栄子氏と副編集長の有田知永氏を講師としてお招きし、「広報誌の魅力的な誌面作りについて」をテーマに研修会を開催しました。目的を持ち、ファンを増やすことの必要性。また、町民が町と関わる為の架け橋となるような誌面作りなど多くのアドバイスをいただきました。副編集長からは写真の撮り方等技術的な指導もいただき、実りある2時間でした。

編集後記

朝夕めつきり寒くなりましたが、皆様、体調を崩していませんか?今年も、異常な暑さや台風・災害の多さに、改めて自然の脅威を感じました、被災された方々が一刻も早く安心して暮らせることを願います。

さて、議会広報広聴常任委員会を立ち上げて1年半が過ぎました。

視察や研修を行い、「読み易く、わかり易い」誌面になるようにと取り組んでまいりました。そこで私達の議会だよりを第3者の目で評価をしていただく為、議会広報クリニックに提出し、8月28日、鹿児島市内にて鹿児島県市町村広報研修会で診断を受けて参りました。その結果、部分的な事を指摘されましたが、総評は良かったのでホッとしました。今後、検討・修正すべき点は議論を重ね改善していきます。そして、より一層の向上を目指し、10月に、全国町村議会広報研修に3名が参加しました。次号にて、また報告したいと思います。津崎 淳子

表紙の風景

神山小学校運動会



【お知らせ】

12月会議は、12月12日(一般質問)、13日・21日に佐多支所議会場で開催予定です。

「みんなの議会」では見る事ができない議会が、ご覧になれます。ぜひ佐多支所議場までお越しください。

〔発行責任者〕

議長 大村 明雄

〔広報広聴常任委員会〕

委員長 水谷 俊一

副委員長 木佐貫徳和

委員 津崎 淳子

委員 後藤 道子

委員 日高 孝壽

委員 大坪満寿子